



東京都退職校長会 会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 角田 美枝子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル 5 F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

東京都退職校長会の魅力は、支部の活発な活動があつてこそ発揮されるものと考えます。この度「支部活動一覧表」を、支部長各位のご協力を得て作成いたしました。一覧表からは、各支部の活発な活動が伝わってきます。これが今年度の新入会員増加につながっていると考えます。

【支部間交流】

「支部活動一覧表」には「支部間交流」を実施している支部と実施を計画している支部が、十支部ありました。



「活発な支部活動と 新入会員の増加に感謝」 東京都退職校長会会長 角田 美枝子

「支部間交流」は、令和三年度に改正された「新たな支部運営規則」に登場しました。「支部間交流」の一つは、支部同士の交流です。既に千代田・中央、文京、新宿の三つの支部が、合同で研修会等を行っています。今一つは、会員個人が他の支部の見学会やクラブ活動等、一部の活動に「奨励会員」として参加できることです。こちらにも既に、他支部の見学研修等に参加した会員の声が聞かれます。

今年「支部間交流」を積極的に進めて、本会の更なる魅力を広

めたいと思います。

【現職校園長会との交流】

昨年十月に「全国連合退職校長会関東甲信越地区大会」が栃木県宇都宮市で開催されました。各県からは、支部毎に「現職校長会」と懇談会や合同研修会をもち、顔の見える交流を通して入会率を高めていることが報告されました。

本会も多くの支部が、現職の校長・園長会長との交流を「支部活動一覧表」に記しています。現職の校長・園長方との交流を通して今日の学校現場を知り、併せて本

会の願いや特色を伝えていきたいと思ひます。

【デジタルを活用した教育】

本会の目的の一つは「教育寄与」です。そのためには今、教室で行われている授業を知ることが大切と考え、昨年十月の支部長会に、東京都教育庁の江川徹課長に講演していただきました。一人一台端末を活用した授業の様子を、動画を交えてスクリーンに投影しながら、「教えるから学ぶ」へと授業が変わったことを明快に説明していただきました。

【教育庁幹部との教育懇談会】

本年二月には、昨年度に続き東京都教育庁幹部との教育懇談会を開催いたします。今年度は、(一)「東京都の不登校対策」(二)「教職の魅力」を社会に伝える都の広報活動(三)「本会の教育寄与活動の取り組み」を中心に懇談いたします。

【希望に満ちた一年に】

今年「巳年、蛇は「復活と再生」の象徴といわれます。本会の維持・発展を目指して、必要な改革を進めてまいります。会員の皆様にとりましても希望に満ちた一年となりますことを祈念申し上げます。

主な記事

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶 | 第2回 会員研修会 報告 |
| P2 デジタルを活用したこれからの学び | 令和7年度 定期総会 |
| 会報の年間3回発行 | P4 支部活動一覧表 |
| 会報年4回発行から年3回へ | P5 支部だより |
| 「クラブに関する規程」及び「クラブ運営上の原則」 | P6 新入会員の声 |
| P3 全国連合退職校長会 関東甲信越地区 栃木大会 | P7 令和6年 秋の叙勲受章会員、高齢者叙勲受章会員 |
| | P8 物故者、応募コーナー、編集後記 |

デジタルを活用したこれからの学び

東京都教育庁総務部 デジタル企画担当課長 江川 徹

現在、教育の現場では「教える」授業から、子供たちが自ら「学ぶ」授業への転換が強く求められています。「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現（令和三年一月、中教審）では、個別に最適化された学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことが示されました。

東京都教育委員会では、国の方針を踏まえ、令和六年三月に「東京都教育ビジョン（第5次）」および「東京都学校教育情報化推進計画」を策定し、「デジタルを活用したこれからの学びの推進」として授業改善の方向性を周知しました。

この学びでは、デジタルの活用を大前提とし、個別最適な学

びと協働的な学びを一体的に充実させるとともに、子供自身が学習課題や学習方法を自己決定する授業を通じて、自立した学習者を育成することを目指しています。ポイントは、教師が「学びのプロセス」「思考のスキル」「デジタルリテラシー」の三つの力を子供たちに身に付けさせることです。また、子供が自ら学ぶ時間を設定し、個々の学びを伴走支援することも重要です。教師主導の授業から子供主体の授業に転換していくためには、これまでの指導観を大きく変える必要があります。現場への浸透に向けては課題が山積しています。退職校長会の皆様におかれましては、授業改善の方向性についてご理解いただき、学校現場や各種研究会等において普及・啓発にお力添えいただけると幸いです。

会報の年間3回発行

財政安定化委員会
委員長 草野 一紀

本委員会では、皆様のご理解を得て支部活動助成金の縮減など、支出の抑制に取り組んでまいりました。しかし、郵送料の大幅な値上げ等により、さらなる経費節減が必要となりました。委員会でも論議を尽くしましたが、これまで年4回であった会報の発行回数を3回に減らすしか方法がないとの結論に至り、委員会案として運営委員会に上申いたしました。反対意見の方もいるかと思いますが、会の存続のために、どうかご理解をお願いいたします。

会報年4回発行から年3回へ

業務運営改善委員会
委員長 宇津木 順一

会報は会員の皆様お一人お一人にお届けし、手に取ってご覧いただき、会の活動や会員の状況等についてご理解いただいています。会と会員を結ぶ重要な役割を果たしています。この会報の発行について皆様のご協力の下、今ま

で年4回発行してきました。しかし、会員の減少に伴い本会の財政が極めて逼迫している状況から次年度、令和7年度から発行を1回減らし年3回発行（6、10、2月予定）にせざるを得ない状況になりました。発行回数は減りますが紙面を一層充実させて皆様のご期待にそえるよう努めて参ります。

なお、「各部の業務内容に関する規程」（広報部）により「会報誌発行の基本原則」を定め、その原則により会報を発行しています。今までの基本原則の年4回発行を3回に改めることについて支部長会での承認をいただいています。会員の皆様には、是非、状況をご理解いただきご了承くださるようお願い申し上げます。

「クラブに関する規程」及び「クラブ運営上の原則」

業務運営改善委員会
委員長 宇津木 順一

業務運営改善委員会では、本年（令和6年）度上半期は特に本会のクラブ活動の運営について協議検討しました。検討に当たっては、クラブ活動は、本来、自発的自主

的な活動であり、できるだけクラブの主体性を重視した自由な運営を尊重すべきとの考え方を基本にしました。同時に、本会から助成金が出ている活動であり、基本的なことは会員の共通理解が必要であると考える、クラブ活動の運営、活動の基本について「規程(案)」及び「運営上の原則(案)」としてまとめました。「規程(案)」及び「運営上の原則(案)」について十月の支部長会で説明いたしました。「規程」(本会のクラブは、東京都退職校長会の正会員で運営する。)については支部長会での承認が必要でありますので、一月の支部長会で諮り承認いただきました。「規程」及び「運営上の原則」についてご理解いただきたいと思います。

全国連合退職校長会 関東甲信越地区 「栃木大会」

令和六年度全国連合退職校長会第五十三回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会「栃木大会」が、十月二十四日、二十五日に、栃木県宇都宮市のホテルニューイタ

ヤグにおいて開催されました。本

会から角田美枝子会長・皆川清副会長・直井一郎事務局長、栃木県以外から二十二名、開催県の栃木県からは三十八名が参加しました。

今回の研究協議課題は、「人との繋がりを大切にし、活動が見える退職校長会を目指して」明るく豊かな生き甲斐のある人生を送るためにです。協議課題に迫るために、各都県から以下の四つの協議課題に対する取り組みについて、情報提供がされました。

①入会者の減少・中途退会の増加等の問題の対応、加えて、本年度からの役職定年制にあたっての様な対応をとったか。

②現役世代との交流活動や学校支援活動として、どのようなことに取り組んでいるか。

③地域社会への社会貢献活動として、どのようなことに取り組んでいるか。

④会員相互の交流活動として、どのような活動に取り組んでいるか。

◎本会は、②の課題を共通話題にし、教育研究プロジェクトチームが取り組んだ、「学校の教育力向上に資する東京都退職校長会の在

り方」について説明しました。

(会計部担当副会長 皆川 清)

第二回会員研修会報告

令和六年度第二回会員研修会が十一月十三日(水)に行われました。今回は第一回に引き続き、荒川シルバー大学理事長の箭内忠義先生を講師に迎えた前回の実践編としての野外散策です。

好天に恵まれた当日、皇居大手門に集まった角田会長以下二十三名は、箭内先生と共に講師として参加くださった森林インストラクター市川陽子・高橋喜蔵両先生のおかげで三グループの少人数班に分かれ、東御苑の中をゆっくり散策できました。イチヨウ、クスノキなどの高木から、ガマズミ、キブシ、マンリヨウ、ムラサキシキブ、ハナイカダなどの低木まで実際に幹や枝、葉や花に触れ、丁寧な説明に時の経つのを忘れ、二時間があつという間に過ぎました。

皇居が歴史的価値のみならず、自然や植生という意味でも価値のある場所だということに改めて気づかされた研修でした。

(生涯学習部 松澤茂久)

令和7年度 定期総会

令和7年度 第72回定期総会を次の通り開催いたします。申し込み方法など、詳細は支部長を通してお知らせいたします。

日時：令和7年5月19日(月) 11:00～15:00

会場：主婦会館プラザエフ 7階カトレア (JR四ツ谷駅、東京メトロ四ツ谷駅 徒歩1分)

1. 受付 10時30分

2. 総会 11時00分～12時10分

3. 会員研修会 12時20分～12時50分

講師：福田晴男先生

演題：「チョウからの学び」

4. 懇親会

13時00分～15時00分

支部活動一覧表

生涯学習部担当副会長 齊藤徳藏

支部名	研修会・講習会 他	総会等における懇談会・懇親会	クラブ・サークル、写真展・作品展 その他
千代田・中央	ミニ講演会 ウォーキングの会 情報交換、近況報告(支部会)現職会員校訪問	教育長との懇談会 幼・小・中学校長との懇談会・懇親会	ウォーキング(文京・新宿支部と合同開催) 退職公務員連盟の報告等
港		総会時、教育長、幼、小、中学校の園長・会長との懇談会	会員の近況等お便り集発行 教育委員会の広報「ひろば」支部だより(3)
新宿	研修会 懇親茶話会(2)	総会(校園長会長参加) 区教委(教育長・指導課長)・園小中学校長会長との懇談	ウォーキング(千代田・中央、新宿支部と合同開催)「役員会便り」の発行(4)
文京	施設見学:ウォーキング研修会(区内・周辺地区の歴史館や博物館 千代田・中央、新宿支部と協働) 研究協力校発表会参加	総会・懇親会(区長・現職校園長との懇親会)新型コロナウイルス発生以降は紙上総会に変え、現在は懇談会等は開催していない。	会員が個々に活動しているサークルの作品展や童謡の合唱の会に、他の会員が参加 支部会員の「出展」鑑賞や「童謡の会」参加 支部だより・役員会報告・会員近況報告等の発行
台東		総会・懇親会	支部だより(4)
墨田	一日研修旅行(施設・歴史見学等)	支部総会・懇親会 忘年会	展覧会 会誌発行
江東	施設巡り(半日の町歩き)校(園)長会会長の講演会	総会時に区長、教育長、幼・小・中(園)長会会長と懇談	卓球 健康麻雀 町歩き 俳句 囲碁(休止中)作品展(絵画、書、写真、俳句等)支部だより(1)支部長だより(6)
品川	日帰りバス旅行会 施設見学会(2)	新年会で教育長講演 総会に区教委、幼小中会長出席・懇談	歴史見学クラブ 会員だより(4)
目黒	新年研修会・懇親会(1) (指導課長、幼小中学校長の講演) 研究発表会参加 史跡歩こう会(1)	小学校長と退職校長の会(1) 総会・懇親会(1)(区長・教育長・幼小中学校長会長の出席)小学校長と転退職校長の会(1)	ゴルフ(7) 支部だより(2) お便り集(1)
大田	小中学校学校訪問 研修奨励校研究発表会参観	総会 教育委員会・小中学校長会長との教育懇談会 役員・理事会(8)	歴史散歩 ゴルフ 園芸 健歩 囲碁 美術 書道 子ども発明・発見展 会報発行(1) 会員近況報告
世田谷	一日研修(2) 会員の体験発表会 講演会(区民参加)他団体共催の講演会(随時)	区教育長表敬訪問 定期総会・懇親会(新旧役員懇親会を兼ねる) 小・中校長会会長との教育懇談会・新年懇親会	合同役員会後のボッチャ等の交流会・体験発表者を囲んでの交流会 支部会報(年2回)総会・支部会員名簿作成 他支部との交流
渋谷	講演「渋谷区のエデュケーションについて」教育長 見学・研修会	総会 夏季会員・新年会員交流会 現職校長会役員との懇談会	会員便り(会員近況報告) 支部会員名簿発行
中野	東京新発見散歩	総会 区長、教育長との懇親会	趣味作品展 会報発行 周年行事
杉並	講演会(5)(園・小中・高の教育の現状と課題)	総会・新年会(区教委関係者等参加)	講演・歌と踊り合同の会(杉行会・愛杉会・都公連杉並支部) 支部会報を幼・小・中・の園長・校長に配布
豊島	会員は85歳以上の3人、会費も集めず、	思い出と絆の会として静かに存在	
北	会員研修会(洪沢菜一翁の足跡を辿って～ボランティアガイドと) ランチ会	総会・懇親会(区長、教育長、幼・こども園・小・中校園長会) 役員新年懇親会	あすか会作品展(絵画 書 手芸 写真 ちぎり絵等) 会期4日間
荒川	一日見学会(名所旧跡、施設等での見学・研修)	総会、総会後の懇親会(園長会長、小中学校長会長、教育長を迎えての懇談) 懇親会(2) 新年懇親会	趣味展(書道 写真 絵画 ちぎり絵 竹細工 苔玉 研究冊子 手作りラジオ 石器等の展示 体験コーナー)
板橋	秋の散策と茶話会(松月院、東京大仏等)役員会のときに役員が交替でミニ講演	教育委員会との懇話会 現職校長会との懇談会、新年会 総会・懇談会 桜を観る会と茶話会	写真展・作品展(紙上発表 カラー印刷 別刷り)広報(けやき)(2)
練馬	会員講師による講演会(3) 一日研修(1) 区校長会への参加	総会 長寿・叙勲祝賀会 新入会員歓迎懇親会 忘(新)年懇親会 地区懇親会 役員(5) 理事会(4)	写真 囲碁 歩こう カラオケ 読書(3~12) 写真展 作品展 支部会報・支部会報増刊号(1) 支部だより(4) 会員近況報告(2)
足立	会員交流の集い「歴史散歩」	総会(教育長講演会) 年末懇親会	会報発行(2) 喜寿者・米寿者へのお祝い贈呈
葛飾	史跡見学会(教養高め、健康増進と親睦)	総会・懇親会	ゴルフ(10) ぶらり散歩(2) ゴルフコンペ
江戸川	研修会(1) 旅行会等(1)	総会・懇親会(区長・教育長・幼小中 の園校長と交流)	囲碁部・女性活躍部・自然探訪部・旅行部 支部会報(1)
八王子	研修会(1)	総会(市教育長、小・中学校長会) 懇親会	ゴルフ(9) マジック(15) 水墨画 ウォーキング(3) パソコン(11) 囲碁(6) 支部ニュース(月1回)
町田	研修旅行(1)	総会・懇親会 役員懇親会(7)	検討中
日南	見学研修会	総会後の懇親会 教育懇談会	会報発行(2) (支部活動について見直し中)
武蔵野・三鷹	研修会(2)(歴史・文学散策、講演等) 他支部会員参加	総会・懇親会 作品展⇒市長・教育委員会関係者に招待状発送 来場あり	蕎麦打ち(3~4) 健康麻雀(12) 囲碁(2回の大会) 作品展(写真、絵画、手芸、文芸、音楽等) 他支部会員参加有 会報発行(1)
北多摩北部	施設見学研修会(文化施設等) 授業参観・懇談会 スマホ教室(会員を講師とした研修会)	総会(教育長・小中学校校長会長に原則案内状送付) 小中学校校長会に出席(本会活動について説明の機会を設ける)	役員会に写真クラブの会員の講演、支部会員全員にアンケート調査し、会員一人一人の継続的研究や研鑽及び趣味の実態などについて取りまとめ
北多摩中部	見学研修(史跡・寺社 研究・文化施設等) 役員研修会(1)	総会・懇親会	
府中	「あの日、この時」研修会 日帰り研修・見学会	総会 教育懇談会 新年会	
調布	研修会(狛江支部と共催) 小中学校長会と隔年の交流	総会(調布市長・教育長 小中学校長会長臨席) 新年会(狛江支部と共催)	狛江支部と合同開催・相互参加 会報「ゆうゆう」発行
狛江	関係施設などの訪問研修(調布支部と共催) 終活研修	定期総会と懇談会 新年会(調布支部と共催)	作品展 文集(狛晃)発行(1) 調布支部と合同開催
北多摩西部	桜を観る会(国営昭和記念公園3月末)	役員新年会 総会・会員懇親会	文化財探訪クラブ(2) 囲碁サークル 支部だより(2)
西多摩	1日研修旅行	総会・懇親会 各市部の教育長との懇談会	短歌・漫歩会・写真(休部中) 生涯学習写真展(協賛参加) 会報発行(3)
大島	来年度から実施		
三宅島	小・中・高の学校行事に参加	総会 懇親会 小中現職校長との交流会	
千葉南部	日帰り研修 施設見学会(退公連共催)	総会 役員会 教育懇談会・懇親会 新年会	カラオケ大会 ゴルフ同好会(10) 句会(千葉西部支部と共催) 会報発行(2)
千葉中部	研修会・講演会 半日・宿泊研修会	総会 新年会(予定)	検討中
千葉西部	見学研修会	総会・懇親会 新年会	カラオケクラブ 俳句(他支部会員も参加) 作品展
千葉北部	日帰り研修会	定期総会・懇親会 新年会 支部役員会(4)	俳句の会(他支部会員も参加) 歩こう会 会報発行(4) 叙勲受章者・長寿者への記念品贈呈
埼玉県	研修会(定期総会後に実施)講演、報告、発表	総会 懇親会(ブロックごと年1~2回)	ハイキング・陶芸・囲碁・ゴルフ 作品展示会(定期総会時)さきたま会報(2)発行以来113号を数える
神奈川県	一日研修親睦旅行 講演会 見学会	総会・懇親会 役員歓迎迎会 新年懇親会 50周年記念式典・記念誌発行	写真・俳句・ゴルフ・文学散歩の会 写真・作品展 会報発行(3) 大田・町田支部との交流検討中

支部だより

会員間交流を深める

支部活動

文京支部長 小林 博

文京支部の主な活動には、区内やその周辺地区の見学会、新宿支部と千代田・中央支部との協働研修会、園・小中学校の研究発表会の参加、支部だよりの発行と役員会報告書の配布などがあります。

その中でも特に重視している活動が見学会と協働研修会です。庭園や公園をめぐり自然に触れ心を癒します。博物館などを利用して、見聞を広げます。名所・旧跡の見学を兼ねて、2 kmぐらいのウォーキングを行い、体力づくりに励みます。

文京支部では、これらの活動を通して会員同士が交流を図り、有意義なひと時を過ごすことを大事にしています。それが「生き生き人生」を築く重要な要素であると考えます。

支部の現状と今後の展望

北多摩中部支部長 鹿田 克己

本支部は小金井市・小平市・東村山市・国分寺市の四市で構成されている。現在の総会員数は五十三名（小金井十二名・小平十一名・東村山十七名・国分寺十三名）である。他の支部と同様に会員の減少が続いている。高齢化や体調不良を理由に退会される会員も多い。

現在の活動で特に重視していることは会員とのコミュニケーションをどのように継続していくかである。

そのために年二回の支部だよりの発行と会員の状況報告書の作成を行っている。会員の日常や経歴・生活信条等が書かれていて興味深い。

また十月に実施している見学研修会は研修部長の詳しい解説が好評で、終了後の懇親会は大盛り上がりである。

継続は力なりで活動していく。

ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

本社：東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部：東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

ホームページ



新入会員の声

改めて、「出会いに感謝」

品川支部 大竹 節子

品川区公立幼稚園を退職したのは、平成二十四年三月末で、今から十三年も前の事です。園長職時代は国の規制緩和の流れを受け幼保一元化事業に関わらせていただき、平成十四年、品川区初の幼保一体施設（二葉すこやか園）で0歳児～5歳児の乳幼児教育施設を開園しました。今で言う「こども園」の前身です。朝七時半～夜七時半までの間、幼稚園教諭と保育士が協働で保育・教育を行いました。保育制度改革の推進は、当時の園長会組織と行政でタッグを組んで推進した事を思い出します。しなやかに、したたかに、しんぼう強くです。共に歩んだ、校園長会仲間の皆さまから、本会入会のお誘いをいただきました。十三年間の時を経て改めて、「出会いに感謝」です。今後とも宜しくお願ひ致します。

よろしく願ひいたします

江戸川支部 蓮沼 祥之

本年度より本会に入会させていただきました。今年度も江戸川区立篠崎第二中学校に特別任用校長として引き続き勤務させていただいていることや退職金をまだいただけていないことなどから、入会の実感がわいていないのが正直な思いです。

この度、会報執筆の依頼をいただいても、私で良いのだろうかとも思っているところです。教育自体も、取り巻く環境も教師になった頃からは大きく変わってきています。生徒が成長してくれることを喜びと感じ、汗をかき、涙を流し、がむしゃらに働いてきましたが、「働き方改革」の名のもと、仕事の仕方も変えなければならぬのかと痛感しています。とはいえ、まだできることはあるはずと自分を励まし頑張つてまいります。今後とも指導ご鞭撻のほど、よろしく願ひいたします。

あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

突然起こる自然災害。
一人ひとりが日常的に防災を
意識することが大切です。

教職員共済のホームページでは、
防災情報や、学校での避難訓練に
役立つコラムを掲載しています。

ぜひご利用ください！



災害に備える

それでも防ぎきれない
想定外の自然災害や火災には、
教職員共済の火災共済と
自然災害共済で備えましょう。

あなたの大切な住まいと
家財をまもるために。

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

まずはお気軽に資料請求を
家財契約のみでも
ご契約いただけます。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京都事業所

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5 階
TEL : 03-3230-0818

(令和6年10月10日 届出現在)

物故者



謹んでご逝去を悼み

ご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
内海 静雄	5・9・24	神奈川県	小	91	70
大迫 末司	5・12・25	北多摩北部	中	91	43
古郡 幸昭	6・1・25	神奈川県	中	85	70
廣田 幸夫	6・3・23	板橋	中	88	20
棚橋 健造	6・5・19	板橋	小	99	20
辺見 兵衛	6・5・25	北多摩北部	小	94	43
堀越 一雄	6・6・7	文京	中	92	2
小阪 順二	6・6・14	中野	小	89	15
森 豊太郎	6・6・21	板橋	中	97	20
今井新之丞	6・7・1	葛飾	小	98	26
伊藤駿二郎	6・7・4	北多摩北部	高	93	41
奥脇 弘久	6・7・25	神奈川県	中	91	72
板橋 英一	6・7・26	板橋	高	97	20
大河内五郎	6・8・3	西多摩	小	95	56
武井源一郎	6・8・4	八王子	中	89	30
望月 英子	6・8・10	神奈川県	小	107	68
坂本 正彦	6・8・14	世田谷	小	66	14
吉澤 利夫	6・8・24	西多摩	小	92	51
村田 公充	6・9・9	大島	小	86	57
後藤 榮	6・9・13	荒川	小	95	19
千葉 久雄	6・9・13	練馬	小	92	22
加藤明紀夫	6・9・22	墨田	小	79	4
赤松 秀夫	6・10・4	中野	小	93	15

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

応募コーナー

俳句

梵鐘の音染み渡る後の月

御仏を祀る板碑や初紅葉

初鳴や池に騒立つ鯉の群れ

世田谷支部 称津 啓

不揃ひの白玉団子良夜かな

通院に付き添ひし道金木屋

老いの愚痴当てに重ぬる古酒の杯

目黒支部 松村 由紀子

短歌

ぐちゃぐちゃに顔をよごして

泣きわめく

子の手を取りてなだめて理由きく

担任の胸にしがみて泣きじゃくる

この子の心に何を満たすか

子どもらの植えし球根ふつくらと

落ち葉持ち上げ黒土よりのぞく

中野支部 田中 弘志

編集後記

私は、校正のために届けられる編集子の原稿を読み残しがないように隅から隅まで読む。

誤字脱字は無いかな、書き手の言いたいことは何か、伝わりやすく表現されているか等々の視点で作業として読む。

巻頭文を読むのは楽しみだ。そこに教えられること、共感すること、時には実践したことまで含まれている。

新入会員の文章には、親しみを覚えるし。時には、今の若者が使用する言葉が入っていたりして、年の差を実感さえする。

最終ページの俳句や短歌には、豊かな表現に毎号感心させられる。時には、どう読むのか分からないことばにも出会い、編集会議で学ぶことしばしば。

つい先頃までお元気であると聞いていた方の訃報にここでふれ、驚き、音信不通に後悔させられる。

皆さんは、どのような記事に関心をお持ちでしょうか。次年度から発行回数が減ることになりました。

(大須賀敬子)